理想の会社像とは..

ボートは下流に流されてしまう! 源流に近づくほど、オールを回転数多く漕がなければ、 川を上り続けるためには、 役員レベル 100回転/分 役員は最低でも100回転漕がなければならなり 流れがかなり速く、鯉の滝上り」に近いので、 流 上流 流れが相当速くなってきたので 部店長レベルは1分間に50回転漕ぐことが要求される。

部長レベル 50回転/分 課長レベル 社員レベル 30回転/分 10回転/分 中流 課長レベルは1分間に30回転は漕がないと下がってしまう 流れがやや速くなってきたので、 下流 社員レベルは1分間に10回転漕げばより 流れが遅いので 条件である。 ただし、仕事量が多いと言っても、 当然 るほど仕事量が多いことが、理想的な会社になる必要 会社内での勤務経験が長く、かつ役職が上になればな

リーダーは、知識広くて、知恵深く、 一富でなければならない!

のことながら、会社に長くいるということではない

日本CFO協会理事 野村證券株式会社 経営役 岩佐昌治